

# ICTを活用した授業づくり

～学力向上に資する「効果的な活用」へ～



国や県は・・・？



# ICT活用について

## 5.「令和の日本型学校教育」の構築に向けたICTの活用に関する基本的な考え方

### 【基本的な考え方】

- ✓ 学校教育の基盤的なツールとして、ICTは必要不可欠なもの
- ✓ これまでの実践とICTとを最適に組み合わせしていく

### ＼Society5.0時代にふさわしい学校の実現／

- ▶ 学校教育の様々な課題を解決し、教育の質向上につなげる
- ▶ PDCAサイクルを意識し、効果検証・分析を適切に行う
- ▶ ICTを活用すること自体が目的化してしまわないよう留意

### (1) 学校教育の質の向上に向けたICTの活用

- ICTを主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすとともに、今までできなかった学習活動の実施や家庭など学校外での学びを充実する
  - 特別な支援が必要な児童生徒へのきめ細かな支援や、個々の才能を伸ばす高度な学びの機会の提供など、児童生徒一人一人に寄り添った指導を行う
- #端末の日常的な活用 #ICTは「文房具」  
#ICTの活用と少人数学級を両輪としたきめ細かな指導

### (2) ICTの活用に向けた教師の資質・能力の向上

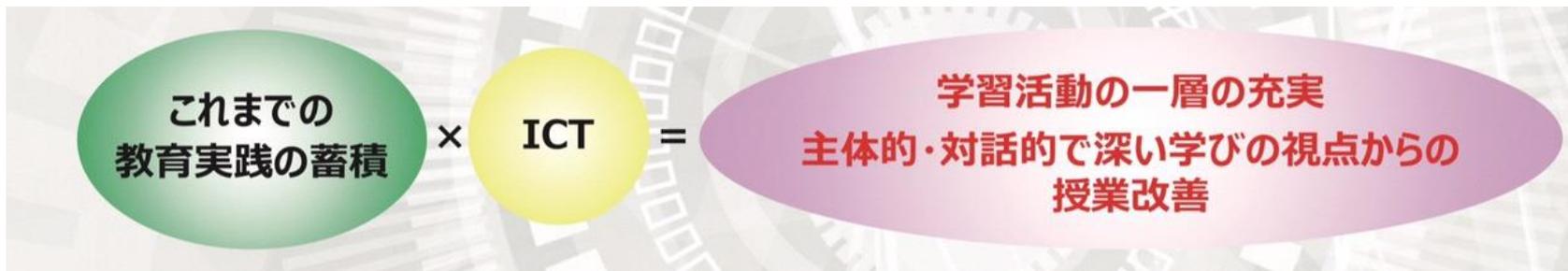
- 教員養成・研修全体を通じ、教師が必要な資質・能力を身に付けられる環境を実現する
  - 教員養成大学・学部は新たな時代に対応した教員養成モデルの構築や、不断の授業改善に取り組む教師のネットワークの中核としての役割を果たす
- #ICT活用指導力の養成 #データリテラシーの向上  
#指導ノウハウの収集・分析

### (3) ICT環境整備の在り方

- GIGAスクール構想により配備される端末は、クラウドにアクセスし、各種サービスを活用することを前提
  - 各学校段階（小・中・高）における1人1台端末環境の実現と、端末の家庭への持ち帰りが望まれる
- #デジタル教科書・教材の普及促進  
#教育データの利活用 #ICT人材の確保  
#校務効率化



●中央教育審議会「「令和の日本型学校教育」の構築を目指して(答申)」【総論解説】



●文部科学省「GIGAスクール構想の実現へ」～1人1台端末は令和の学びの「スタンダード」

これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックス

・・・各教科で育成をめざす資質・能力...「本質」は変わらない

- ① 学習内容の確実な定着を図り、その理解を深め、広げる「個別最適な学び」の実現
- ② 仲間をはじめ多様な他者とかかわり、主体的に問題を解決しようとする「協働的な学び」の実現
- ③ 外部機関・地域等と連携した「豊かな学び」の実現
- ④ 児童生徒の「多様な学びを保障する支援」の充実
- ⑤ 教育データの有効活用による「教員の授業力」の向上



全市町村で実現する  
推進体制の構築

### ステップ1

<毎日使ってみる>

指導計画に沿って、毎日1人1台端末を活用した授業

### ステップ2

<機能をフルに生かす>

端末や授業支援ツールの様々な機能を生かした授業

### ステップ3

<使いこなす（自然に溶け込む）>

これまでの実践とICTを最適に組合せた授業

R3

まずは、使ってみる

R4

<ICTを使うための授業からの脱却>

“学びに即して機能を生かす” “児童生徒が使いこなす”

R5

## (1) ICT活用モデル構築・推進

■ 学びの改革推進訪問 ～学校のニーズに応じて弾力的に対応し、ICTを活用した教員の授業力向上を図る～

・ A：研修訪問 B：相談訪問 C：実践訪問 <指導主事による、多様な活用例の情報提供>

■ 実践フィールド校<各地区小・中各1校>による「授業モデル・研修モデル」の構築・普及

・ ICT活用コーディネータ（各地区1名）を核として推進：ツール、デジタル教材等の提供・活用

■ オンラインを活用（時間や場所の制約を緩和）した新たな学習活動の推進

・ オンライン社会見学や外部人材、博物館等地域資源の有効活用

## (2) 学習者用デジタル教科書の活用（国事業を活用予定）

■ 全教科のデジタル教科書の効果・影響を検証 ～いつ、どのような場面での活用が有効か～

・ 英語：全小（5.6年）、全中（1～3年）学校で検証 ・ プラス1教科：地区ごとに全教科について検証

<各教科指導主事会で知見・ノウハウの収集、取りまとめ→教育課程研究協議会等での情報提供>

R6年度本格導入  
を見据えて

## (3) ICT・プログラミング教育の推進

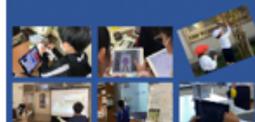
■ ICT活用推進委員による多様な授業実践（授業動画・指導案）の構築・普及→核となる教員の育成>

■ ICT活用アドバイザー（大学の有識者）の派遣 ・ 市町村が実施する教員研修会等に派遣

<学びを変える>

ICT活用ガイド

～令和2年度ICT活用実践事例集  
〔小・義務教育学校（初等課程）～



ぎふっこ学び応援サイト

【岐阜県教育委員会】学校支援課

<スピーディーな知見の共有>  
オンライン授業公開

「新たな学び」をつくりだす 岐阜県内の取組を応援  
ぎふっこ学び応援レター

岐阜県教育委員会 学校支援課 R3.5.14 <第1号>



学びの改革  
①  
②  
③

# 「1人1台端末・高速通信環境」を活かした学びの変容イメージ

工夫次第で、  
学びの可能性は無限大に。

## 例えば...

- ・理科の授業で、観察・実験の際に、動画撮影で、振り返りやよりきめ細かな分析が可能。
- ・社会の授業で、各自で収集した様々なデータや地図情報をPC上で重ね合わせて深く分析。

## 例えば...

- ・検索サイトを用いて、授業テーマに応じて一人一人が様々な文章や動画を収集し、情報の真贋を判断し、整理する。
- ・一人一人が文章作成ソフトを活用し、推敲を重ねて長文のレポートを作成する。

## ステップ1

“すぐにでも” “どの教科でも”  
“誰でも”活かせる1人1台端末

## ステップ2

教科の学びを深める。  
教科の学びの本質に迫る。

## ステップ3

教科の学びをつなぐ。  
社会課題等の解決や  
一人一人の夢の実現に活かす。

→活用の頻度の差で児童生徒の情報活用能力に差ができてはじめている  
※ICTは今や学校でも「マストアイテム」になってきています。

# ご存じですか？



(小・中学校・義務教育学校)  
＜学びを変える＞  
**ICT活用ガイド**  
～令和3年度 ICT活用実践事例集～



岐阜県教育委員会  
令和4年3月

＜学びを変える＞  
**ICT活用ガイド**  
～令和2年度 ICT活用実践事例集～  
【小・義務教育学校（前編）】



令和3年3月  
岐阜県教育委員会 学校支援課



どんどん実践事例が増えてきました！

第2学年 生活科学学習指導案

単元	学習目標
1	...
2	...
3	...
4	...

第3学年 シミュレーションから成り立ちそうな性質を見出し、証明の仕方を自分で選んで追究する学習

相対比

ICT活用ガイド

ICT機器の活用により、自己の考えを広げ深める学習

第6学年

電気の仕組み

本校独自のICT活用実践事例集

本校独自のICT活用実践事例集

本校独自のICT活用実践事例集

# 1人1台端末を活用した授業イメージ

## ICTを活用した学習場面の類型 「個別最適な学び」「協働的な学び」へ

### A 一斉学習

挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。

#### ▶ A1：教員による教材の提示



画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用

### B 個別学習

デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。

#### ▶ B1：個に応じる学習



一人一人の習熟の程度等に応じた学習

#### ▶ B2：調査活動



インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録

#### ▶ B3：思考を深める学習



シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習

#### ▶ B4：表現・制作



マルチメディアを用いた資料、作品の制作

#### ▶ B5：家庭学習



情報端末の持ち帰りによる家庭学習

### C 協働学習

タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学习において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。

#### ▶ C1：発表や話し合い



グループや学級全体での発表・話し合い

#### ▶ C2：協働での意見整理



複数の意見・考えを議論して整理

#### ▶ C3：協働制作



グループでの分担、協働による作品の制作

#### ▶ C4：学校の壁を越えた学習



遠隔地や海外の学校等との交流授業

【基本方針】 学力向上に資するICTの『効果的な活用』を目指して …まずは『積極的な活用』から

## ICT活用支援の基本的構え

【キーワード】 #積極的な活用 #効果的な活用

【指導・支援の基本的な構え】

- ・「育てたい資質・能力」につながるICT活用の在り方
- ・「主体的、対話的で深い学び」の効果的なICT活用の在り方
- ・1時間の教科、領域の授業におけるICT活用場面の整理・精選

## 市町(組合)教育委員会学校からの要望

◎教職員研修の実施や具体的な活用事例の提供

- ・デジタル教科書の効果的な活用について
- ・学習支援ツールの効果的な活用事例について
- ・1時間の授業のねらいに迫る効果的なICTの活用の在り方について

## 【西濃管内の「ICTを活用した学びの改革」推進の状況】

(6月24日現在 n=69)

教師				児童生徒			A一斉		B個別学習					C協働学習			
タブレットPC	電子黒板大型TV等	デジタル教科書	支援ツール	タブレットPC	デジタル教科書	支援ツール	A1	B1	B2	B3	B4	B5	C1	C2	C3	C4	
79.7	75.4	23.2	39.1	56.5	8.7	44.9	72.5	27.5	15.9	15.9	23.2	0.0	52.2	26.1	7.2	4.3	
81.2				58.0			72.5	49.3					56.5				

類型：文部科学省「学びのイノベーション事業」実証研究報告書より

### 【タブレット端末の管理・運用】

- 朝に管理庫の解放（開錠）
- 毎時間、机上に文房具としてタブレット端末準備（状況に差）
- 管理庫への返却確認、放課後の施錠確認の徹底

### 【積極的な活用】

- デジタルコンテンツの活用
- 学習支援ツールによる資料配付
- 写真アプリによるノート等の写真提示
- 学習・作品の記録
- 校内研修の実施
- 前時を記録した動画による既習内容の想起
- ICT活用へ苦手意識をもつ教職員の戸惑い（従来の授業で十分という意識からの脱却）
- 市町によって導入機器や通信環境に起因する活用実態の差（教職員から「Wi-Fiが繋がらない」との声）

### 【効果的な活用】

- 課題に即した個別の資料検索
- 道徳で生徒の実態を即時的把握
- 理科で1人1台端末を活用し、粒子モデルを繰り返し操作しながら思考
- 教師が活用場面を設定→児童生徒が自ら求めて使用できるように

### 【今後の指導・支援】

- ・「ぎふっこ学び応援サイト」等 有用な情報の周知
- ・ICT活用に係る訪問・校内研修の実施、教育課程研究協議会で周知
- ・教科の本質に迫る「効果的な活用」事例の蓄積と市町教育委員会や各学校への積極的な情報提供
- ・【R4後半】教科の本質に迫る「効果的な活用」を促す資料の作成、配付
- ・【R4後半】西濃地区のICT活用の好事例を集約→随時HPに掲載・周知

活用の頻度の差で児童生徒の情報活用能力に差ができています。



### 実践フィールド校との連携

【輪之内町立大藪小学校】  
【輪之内町立輪之内中学校】

- ・デジタル教材や学習支援ソフト等の活用方法について、実践を推進

### NEW! GIFUウェブラーニング

【教育データ活用校：大野町立大野小学校】  
・小学校全学年で活用

### ICT活用推進員による授業実践

【地区内8市町 13人】

- ・実践事例集、授業動画を作成・周知
- ・主体的実践者に寄り添い支援
- ・教育事務所と相談して、指導案作成

### 学習用デジタル教科書

【重点校：垂井町立垂井小学校 国語】  
【重点校：大垣市立興文小学校 算数】  
・全小・中学校に英語の教科書

### その他

- ・指導主事による訪問・職員研修の実施
- ・市町教育委員会ICT担当者との連携
- ・各種資料掲載ホームページの周知



○研修会資料



○ICT活用ガイド



1人1台端末で  
どんな授業が可能に？



## ▶A1: 教員による教材の提示

### 中学2年「古典」

- ◇古典のリズムを味わい、古典に親しみをもった後、人物の立場や心情を読み取るという課題に対して各自の考えをもつ。
- デジタル教科書の範読機能を用いて、電子黒板で一斉に範読を聞かせる。
- 生徒が各自のタブレット端末を使って自分のペースで範読を聞きながら音読したりサイドラインを引いたりする。



※学習場所・・・普通教室

## ▶C1: 発表や話し合い

### 小学3年「夏休みの出来事」

- ◇夏休みの出来事を紹介するスピーチを行う学習で必要な情報を収集・判断し統合する能力、コミュニケーション能力を育成する。
- タブレット端末の協働学習アプリケーションを使ってペアで互いに聞きたいことを書き込み、スピーチ内容を精選し、構成を考える。
- 電子黒板に各自の書き込みを表示させ、グループやクラス全体で紹介し合う。



※学習場所・・・普通教室

## ▶B2: 調査活動

### 中学1年「国名の由来」

◇必要な情報を主体的に収集・判断する能力及び情報を発信する能力を育成する。

- タブレット端末を使い東南アジアの国名の由来を調べる過程で、ネット上の様々な情報の信頼性や信憑性を吟味する。
- 調べた国名の由来をタブレット端末でグループごとにまとめ、大型モニターに投影して学級全体に発表する。



※学習場所...普通教室

## ▶C2: 協働での意見整理

### 小学5年「自動車工業」

◇自動車産業について、調査内容を効率よく整理し、発表資料をまとめる能力を育成するとともに自分にはない新たな気づきを促す。

- 協働学習アプリケーションを活用して自動車産業に関して情報を収集して共有し、グループ内で意見を出し合い整理する。
- 発表資料を大型モニターに投影して発表し、他のグループの考えと比較する。



※学習場所...普通教室

## ▶B1: 個に応じる学習

### 小学校算数・中学校数学全般

- ◇知識・技能を習得・定着させるため、児童の学習状況を的確に把握し、きめ細かな事後指導を行う。
- 理解度に応じた問題が出題されるドリルソフトを使用し、個々のペースで復習する。
- 教師は個々の学習履歴から、個人やクラス全体の進捗・正答状況、誤答傾向を把握し、個別支援や指導改善につなげる。



※学習場所・・・普通教室・家庭等

## ▶B3: 思考を深める学習

### 中学3年「三平方の定理」

- ◇既習内容を用いながら学習に臨むとともに、本時の課題についての考え方をより深める。
- これから学ぶ内容に関連する既習内容として、1年生で学習した空間図形のコンテンツをデジタル教科書・教材を用いて復習する。
- 三平方の定理を利用する場面について、個々の考えをタブレット端末に整理し、グループやクラスで多様な考え方を交流する。



※学習場所・・・普通教室

## ▶B2: 調査活動

### 小学6年「大地のつくりと変化」

◇必要な情報を主体的に収集・判断する能力及び情報を発信する能力を育成する。

- タブレット端末を使い火山や地震などの映像やインターネット上から調査に必要な情報を収集する。
- 火山や地震の仕組み等、調べたことをタブレット端末から大型モニターに投影して学級全体に発表する。



※学習場所...理科室

## ▶C2: 協働での意見整理

### 中学1年「植物の分類」

◇植物の仲間分けをする際にどこに着目すべきかについて、個々に考えをもち、集約して自分たちの結論を得る。

- 各自のタブレット端末を使ってあらかじめ自分なりの考えをまとめ整理する。
- 自分の考えをまとめたタブレット端末を協働学習アプリケーションで整理し、互いの共通点や相違点から自分たちなりの結論を得る。



※学習場所...理科室

## ▶B2: 調査活動

### 小学1年「いきものとおそぼう」

- ◇個々に多様な「気づき」を促し、観察力を養うとともに、互いの「気づき」を共有し、自分の情報として取り入れる力を育成する。
- 校庭で動植物を観察する際、タブレット端末のカメラ機能で動植物を撮影して記録を残し、後の授業で細かな観察を行う。
- 観察結果を大型テレビ・電子黒板等で提示し、クラス全体に向けて発表する。



※学習場所・・・普通教室・校庭

## ▶B4: 表現・制作

### 小学2年「生きものとともにだち」

- ◇生物の様子や成長の経過を観察する学習において、新たな「気づき」を促すとともに、試行錯誤しながら観察記録を作成する。
- 個人タブレット端末のカメラ機能を使用し、写真や動画を蓄積・共有する。
- 個人タブレット端末上で、写真に矢印や文字を手書き機能で書き込み、蓄積された前回までの観察記録と比較する。



※学習場所・・・普通教室・校庭

## ▶B4:表現・制作

### 小学2年「おまつりの音楽」

- ◇2拍子の拍の流れに乗り、自分のお祭りのイメージに合った音楽をつくる。
- タブレット端末のプログラミングアプリケーションを使って、リズムカードの順番を考え、同じカードを2回以上使って(繰り返し)お祭りの音楽をつくる。
- タブレット端末をペアで見せ合ったり、大型テレビに投影したりして、仲間と交流する。



※学習場所...音楽室

## ▶C1:発表や話し合い

### 小・中学校「歌唱」全般

- ◇グループでの合唱練習を行う学習で、表情や歌唱を分析的に振り返り、改善する。
- 練習の様子をタブレット端末のカメラ機能で録画し、その動画を即座に再生して視聴し、改善点等を話合う。
- 各グループの練習の様子を動画で残し、その内容を教員が確認して、改善点について適切な指導や評価を行う。



※学習場所...普通教室・音楽室

### ▶B3: 思考を深める学習

#### 小学4年「形や色を楽しもう」

◇自分の制作したい皿の形や色を、具体的な利用イメージをシミュレーションすることで明確にするとともに、イメージをさらに深める。

- イラストの皿の色を変更できるデジタル教材をタブレット端末で操作し、皿の色による雰囲気の違いなどを自分のペースで試す。
- その色を選んだ理由をグループで話し合うことにより、各自の考えを深める。



※学習場所...図工室

### ▶C1: 発表や話し合い

#### 小学4年「ここには、きっといるよ」

◇紙粘土の人形を好きな場所に置いて写真を撮影し、ひとつの作品とする学習において、人形や撮影の構図を工夫・改善する。

- 制作した作品をタブレット端末のカメラ機能で撮影し、協働学習アプリケーションに保存して、互いに鑑賞する。
- 感想やアドバイスを書き込む活動を行い、得られたアドバイスをもとに作品を改善する。



※学習場所...普通教室・図工室・校庭

## ▶A1: 教員による教材の提示

### 中学2年家庭「衣服の補修」

- ◇まつり縫いの特徴や縫い方を考え、まつり縫いによる裾上げの方法を身に付ける。
- 実物投影機を使って、教師が演示する手元を大型モニターに投影し、まつり縫いの際に留意するポイントを説明する。
- 個々にまつり縫いに取り組む。分からなくなった場合にはタブレット端末を用い、デジタルコンテンツ等を参照しながら練習する。



※学習場所...家庭科室

## ▶C3: 協働制作

### 中学3年技術「制御プログラム」

- ◇課題を解決するために必要な情報処理の手順を考え、順次処理・反復処理を行うプログラムを作成する。
- タブレット端末のプログラミングアプリケーションを使って、情報処理の手順を考えながらロボットカーの制御プログラムを設計する。
- タブレット端末をペアやクラスで見せ合いながら、プログラムを改善する。



※学習場所...技術室

## ▶A1: 教員による教材の提示

### 中学2年「バスケットボール」

- ◇自チームで選択した攻撃パターンの練習を行い、ゲームの中で活用できるようにする。
- 教師がゲーム中の様子をタブレット端末で録画し、具体的な生徒の様子で良い攻撃のパターンについて示す。
- 生徒が各自のタブレット端末を使って自チームの様子を撮影し、動きを分析したり、次のゲームにつなげたりする。



※学習場所...体育館・グラウンド(種目による)

## ▶C2: 協働での意見整理

### 中学1年「器械運動(マット運動)」

- ◇跳び前転の技能を身に付ける学習で、試技を分析的に振り返り、改善する。
- タブレット端末の撮影機能を用いて録画し、個々の様子の変化を動画で蓄積する。
- 自分が身に付けたい技術ポイントについて、ペアやグループで客観的に見合い、生徒個々の変容について認め合ったり、更なる改善ポイントについて指摘し合ったりする。



※学習場所...体育館・グラウンド(種目による)

# 1人1台端末を活用した授業(例)・・・ 外国語(英語)

## ▶B1:個に応じる学習

### 小・中学校全般(デジタルコンテンツ)

- ◇発音練習に恥ずかしがらずに取り組み、英語に慣れ親しむとともに、簡単な会話を行うことができるようにする。
- 教科書のデジタルコンテンツを使って、ネイティブの英語の発音を聞き、自分の発音との違いを比較する。
- ペアで発音を確認し合ったり、ロールプレイングで簡単な会話を行ったりする。



※学習場所・・・普通教室

## ▶C4:学校の壁を越えた学習

### 小学6年「Summer Vacation」

- ◇学習してきた英語を用い、海外の学校の生徒と直接会話を行い、コミュニケーション能力を育成する。
- 海外の学校とオンライン会議システムでつなぎ、英語を用いて互いの文化や夏休みの様子について交流する。
- 実際の交流から学んだことをタブレット端末の協働学習アプリケーションでまとめる。



※学習場所・・・普通教室・多目的教室

◇目的・ねらい ●おもな学習活動例

### ▶C1: 協働制作

#### 中学1年「観光マップをつくろう」

- ◇市内の観光名所や名産品などを調査し、市の観光をアピールするリーフレットを製作する。
- タブレット端末の撮影機能を使用し、市内の写真を集め、共有する。
- 共有した写真資料や調査結果を学校に持ち寄り、タブレット端末を活用して観光マップやリーフレットを製作する。



※学習場所・・・普通教室・パソコン室

### ▶C4: 学校の壁を越えた学習

#### 小学3年「校区の工場へ」

- ◇校区内の工場を見学し、会社の歴史や働く人の願い、世界とのつながりについて学ぶ。
- タブレット端末の撮影機能を使用し、工場の様子を撮影したり、インタビューで分かったことをメモに取り共有する。
- 工場と学校とオンライン会議システムでつなぎ、学習の成果について発表したり、質問したり、評価をしてもらったりする。



※学習場所・・・普通教室・多目的教室

◇目的・ねらい ●おもな学習活動例

# …とは言いながら、…

学校は多忙な日々

「やらなきゃいけない」とは思いつつ…



いきなり使えって言われても…  
パソコンとか、得意じゃないなあ…



これまでの授業でも十分子どもたちは  
理解しているのだし…



ただでさえ忙しいのに…  
これ以上仕事が増えるの？



すごい！可能性がいろいろ広がりそうだ！  
どんどん挑戦してみよう！！

# まずやってみるとよいことは・・・「積極的な活用」

## ①毎日使ってみましょう！

○「教科の授業」以外にも、朝の会や帰りの会、学活での話合い等で毎日使ってみましょう。

→学級日誌をタブレット端末を使って作成すると、習慣化できる。

○子どもの手元に常にタブレット端末が「ある」ことが大事。

→電源を入れて、調べ学習等、子どもたちが自由に使える環境を。

・・・開錠しても電源保管庫に入ったままではもったいない。

## ②「カメラ機能」から慣れていきましょう！

○最も手軽な機能は「カメラ機能」

→子どものノートや作品を写真に・・・紹介、評価資料へ

→導入などで提示する資料に・・・

→毎日の天気や教室から見える外の様子を撮影し、学級日誌に・・・

※肖像権や著作権には十分配慮しましょう。

# 「業務改善」と「授業改善」をセットで考えましょう

## 例えば・・・

- 会議資料のペーパーレス化 **書類をPDFにして保存するのみ**
  - ・・・印刷の手間 ・・・用紙代の節約
  - ・・・ファイルを探したり、該当箇所を探したしする手間 など...  
→授業プリントへも応用可能
- 写真を撮って保存 **カメラで撮影して保存するのみ**
  - ・・・膨大な書類を持ち歩いたり、探したり、持ち帰ったり など...  
→ノート提出へも応用可能
  - ・・・観察の記録(時系列での変化)、図工・美術の作品の変容  
音楽や体育での技能の変容 など・・・  
→評価資料での活用可能

試行錯誤の繰り返しが授業改善につながる  
→**資質・能力を育成するための「ツール」**  
※従来の授業を否定するものではない。あくまで「補う」もの。



どんなことができそうか、考えてみましょう。

「協働的な学び」をしてみましょう！

教科：

	A( )では・・・	B( )では・・・	C( )では・・・
どの場面で			
どの機能を			
どのように			

# ICTの活用が進んでいる学校では…

職員室で……

**ワイガヤ**がポイント！

ねえねえ、ちょっと見て見て！

こんなことできないかと思って…

へえ！そんなことできるんだ…

それいいね！わたしもやってみたい！  
もっと詳しく教えて！

**恐れず  
やって  
みる！**



# おわりに

実際に使い続けてみると、今まで「できなかつた」  
「難しかった」ことが、「できる！」に変わることが  
たくさんあることに気付きます。

ぜひ、毎日使ってみて、可能性を探り、  
「積極的な活用」から「効果的な活用」  
へとつなげていきましょう。

